

第27回「戦争と医の倫理」の検証を進める会 世話人会（議事概要）

- ◇日時 2013年12月15日(日) 13:00～16:00
◇場所 大阪府保険医協会・2階第1会議室
◇参加者 西山勝夫代表世話人、山口研一郎、吉中丈志各常任世話人、住江憲勇事務局長、高本英司、武田勝文各世話人、垣田さち子京都府保険医協会理事長
<事務局>土井康文(大阪民医連)、遠藤隆(全日本民医連)、久保佐世(京都府保険医協会)、原文夫、杉嶋正信、渡辺征二(大阪府保険医協会)、宇都宮勉、小林耕治(保団連)各氏

◇議長 西山代表世話人

◇報告及び協議事項

- *冒頭、西山代表世話人より前回世話人以降5ヶ月ぶりの開催となる。この間の総括と今後の方向性について、特に2015年医学会総会に向けた進める会としての対応を協議してほしいとの訴えがあった。
- *山口常任世話人より、当会土山秀夫顧問(元長崎大学長)からの伝言が伝えられた。土山顧問は最近、小説『あてどなき脱出』を出版され、長崎県内ではベストセラーになっている等ご活躍されているとの紹介があった。

1. 第26回世話人会(13.7.21)会議報告の確認について

- ・事務局より説明があり、承認された。

2. この間の主な活動と今後の対応について

(1) 次期医学会総会での企画実現に向けた要請について(独自企画準備を含む)

- ①保団連近畿ブロックとしての準備対応(13.8/5-6ブロック事務局長会議)
- ②保団連理事会(13.10.6)保団連近畿ブロックへの協力要請を議論
- ③保団連住江会長(13.11.16)保団連近畿ブロックへ要請書、議論
- ④保団連近畿ブロック(13.11.16)議事録

- ・11月16日の近畿ブロック会議では、武田世話人(大阪協会副理事長)より提案された次期医学会総会への取り組みについて異議無く了承されたとの報告があった。また同会議参加者より、近畿ブロックとして要請を受け止め、各協会が協力していくことが確認されたとの報告があった。
- ・12月13日の近畿ブロック事務局長会議の概要が報告された。ブロック協会の実行委員会への関わり方だが、濃淡がある。この問題での学習会などを開くなどして協会が理解を深められるような努力をお願いしたい。

- ⑤全日本民医連四役会議(13.10.17)積極的な参加を確認
- ⑥全日本民医連理事会(13.10.18)四役会報告を承認
- ⑦全日本民医連近畿地協(13.10.19)地協、各県連が積極参加を確認

- ・全日本民医連では10月に学術集会を開催し、中国への遺棄毒ガス兵器による被害問題での学習を行った。今後2015年医学会総会に向けた重要な取り組みとして位

置づけたいとの説明があった。

- ⑧29 回医学会総会からの回答 (13. 9. 17)
- ⑨医の倫理からの質問・要請(13. 11. 20)
- ⑩井村裕夫会頭インタビュー

(外国招待者準備)

- ① シュナイダー前 DGPPN 会長招請企画 (2015 年 4 月 10～13 日来日承諾)。

・事務局より説明が行われた。

(2) 国際シンポジウム・パネル展示以降の課題について

- ①戦争と医の倫理ードイツと日本の検証史の比較 国際シンポジウムを通じて明らかになった今後の課題と方向(西山代表世話人)
- ②侵華日軍 731 部隊罪証陳列館において 8 月末より 2 室にわたって、120 枚の日本語版パネルの常設展示が開始された。
- ③パネルの貸し出し宣伝・普及
- ④8/31～9/1 日本看護歴史学会第 27 回学術集会(京都府立医大)に際して貸出展示。「パネル集」等も普及販売、来年 28 回(岐阜大学)の準備

・事務局より説明が行われた。

(3) パネル集の翻訳版の作業準備状況について

- ①英語版→小島常任世話人が翻訳(翻訳料 20 万支払い済み)され、それに西山代表世話人の意見を反映した翻訳文に松村世話人を通じ英国人(Mason 教授)が校閲。校閲謝礼として 3 万円を支払い済み。英語版の明大資料館部分の英訳と組版作業は東北大学の窪准教授に依頼中。場合によっては小島先生が交代も。
- ②ドイツ語版→東北大学の窪准教授が翻訳中で、校閲も含めて作業中。
- ③中国語版→張健華氏に依頼していたがご多忙で翻訳は半分まで完成。残り半分を ABC 企画共同代表の田中寛大東文化大学教授に依頼。研究生張麗氏が翻訳作業中。
- ④朝鮮語版→滋賀医大に留学していた任氏、チェ氏が監訳し、朝鮮語に熟達の日本人に翻訳組版作業依頼中。翻訳費用 20 万円の半額を支払い準備中。完成後残額を支払う予定。韓国での出版も検討(出版契約を要す。当会による三恵社版とは別)

・事務局より説明が行われた。

(4) マスコミの取材要請への対応について

- ①北海道新聞が 8 月終戦の日特集で企画。吉中常任世話人が 8 月 1 日、全日本民医連で取材を受けた(掲載記事参照)。

・事務局より説明が行われた。

(5) 会計報告

- ・事務局より説明が行われ、今回は中間報告の資料であること、近々本報告を行うことが説明された。

3. 日本医学会総会に向けた準備会について

(資料別紙)

- ・垣田京都協会理事長より、次の報告があった。2007年の医学会総会（大阪）に際しては、「戦争と医学」展実行委員会に、保団連近畿ブロック代表・保団連理事として参加された経緯が報告された。2015年医学会総会をめぐっては、京都協会の地元には731元関係者のご遺族などもおられるなど非常に微妙で厳しい面があるが、協会としては今年度総会方針に「医の倫理」について2015年医学会総会開催念頭に置き、取り組むことを掲げた。会内では現在の中国との外交関係や戦後補償の問題との関係などで疑問の声も寄せられているが、協会内で学習会や理事会での議論を積み重ねてこの課題に取り組んでいる。府医にも正式に要請を予定している。

4. 今後の世話人会開催予定、その他

(1) 次回開催予定について

- ・事務局で日程調整をする。場所は東京としたい。

(2) 5月連休中の中国の旅企画準備への協力（京都府保険医協会、北陸関係者）

- ・京都協会では14年5月3～6日にかけて中国ハルビンの731部隊陳列館を視察することになった。また「進める会」でも北陸支部が結成された記念に同時期に陳列館を視察することから、現地では京都協会と北陸支部で協力して陳列館に働きかけることなどが確認された。

(3) 明治大学平和教育登戸研究所資料館 第4回企画展「本土決戦と秘密戦」

2013年11月20日～2014年3月8日 於同資料館

- ・事務局より説明が行われた。

以上